



南アルプス市立図書館館長

保坂 なおみ

ほさか なおみ

櫛 形生涯学習センターには、本市出身の内藤多仲博士が設計した東京タワーの模型が、生涯学習施設のシンボルとして設置されています。中央図書館側からテラスに入り近くで観ることができ、子ども達にも人気の場所となっています。小さな子どもは周りを走ってしまうこともありますが、それもお愛嬌。親子で東京タワーと写真を撮っている姿はとても微笑ましいです。模型はとても忠実に再現され、小学校の図書館見学の際には、「三角形がお互い支え合って地震に強く設計されています」「展望台の中に人もいますよ」と説明すると目を輝かせて三角形や小さな人を見つけます。

図書館では、伝記『東京タワーをつくった男・内藤多仲』（江宮隆之・著）を基に本市出身の漫画家、花松あやかさんに執筆を依頼し、偉人マンガを製作しています。併せて「ふるさと人物室」では、内藤多仲博士の企画展（～R6.9.16）を開催しています。博士の生い立ちや業績をマンガや企画展、書籍で紹介することで、ふるさとに対して誇りと愛着を感じることができればと考えています。

東京タワーのある図書館

内 藤多仲博士の地元で育った私は、小学校の卒業式には博士の「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」が書かれた色紙をいただき、博士の言葉「高登彼岸」を校訓とした中学校に通い、博士の設計した体育館で集会やスポーツをして過ごした思い出があります。大人になってからも、ご縁があってこの小・中学校に学校司書として勤めることができました。市立図書館で博士の功績を紹介することになり、改めて、この環境で育ったことをとても嬉しく思います。地元子ども達には、勉強熱心で努力家であった内藤多仲博士を、もっともっと知ってほしいと思います。

図書館は、どなたでもご利用できますので「東京タワーのある図書館」に、ぜひお越しください。



南アルプス市立図書館
が掲載されました

『事例で学ぶ図書館 3』

事例で学ぶ図書館情報資源概論』

吉井 潤／著 青弓社



【著者の吉井潤さんに寄稿文をお寄せいただきました】

ICTの発展により、図書館も従来のように「紙の本」を貸し出すだけの場所ではなくなっている。電子書籍を貸し出す「電子図書館」等が広まり、図書館が扱う資料の性質は大きく変化している。その変化に対応するため、従来の「図書館資料」よりも広い対象を表す言葉として使われるようになったのが「図書館情報資源」という言葉である。



写真・本人提供

本書は、司書資格を取得するための授業で用いるテキストである。だが、図書館の様子を知ることができるため利用者が手にとっても楽しめると思う。

本書では、事例の一つとして南アルプス市立中央図書館の「75分の1東京タワー」と「ふるさと人物室」の展示を取り上げた。昨年、職員研修講師として伺った際に見て「これだ」と思い相談した。図書館は地域資料・情報を収集し、市民に「紙の本」だけではなく歴史や文化等を知る機会を提供している事例を探していた。授業で学生に紹介をすると「迫力がある」と驚いていたのが印象的だった。

【職員研修を行いました】

市立図書館では、職員の知識や技術を深めるため、毎年研修を行っています。今年度は、昨年に引き続き、吉井先生を講師に迎えて研修を行いました。より良い図書館にしていくため、これからも研鑽を積んでいきたいと思えます。



研修会のようす

「おはなしの会 ムーミン」 全国優良読書グループ表彰 受賞

この表彰は、公益社団法人 読書推進運動協議会の「読書週間」事業のひとつとして、全国の優良読書グループを対象に行われています。

今年度山梨県内では、「おはなしの会ボランティア ムーミン」(平間恵美子代表)が受賞し、第56回山梨県図書館大会(令和5年11月30日開催)にて表彰されました。



「おはなしの会 ムーミン」のあゆみ

平成8年、若草町中央公民館図書室にて、絵本や読み聞かせに興味のあるお母さんを中心に活動が始まる。紙芝居、てぶくろ人形、エプロンシアター等を手作りして、図書館内でおはなし会を中心に活動するほか、市内小学校・支援学校・児童館などに出向いて読み聞かせを行っている。

中央図書館(055-280-3300) 中央図書館芦安分館(055-282-7285) 白根桃源図書館(055-284-6010)
八田ふれあい図書館(055-285-5010) わかくさ図書館(055-283-1501) 甲西図書館(055-282-7291)